

多賀城市公共施設等総合管理計画の見直しに関するアンケート

皆様には、日頃、本市の公共施設をご利用いただき、ありがとうございます。

全国的に公共施設の老朽化対策が課題となる中、本市も例外ではなく、高度経済成長や人口増加といった時代背景のもとで整備された公共施設の多くが更新時期を迎えています。

一方で、少子高齢化の進行による人口構造やニーズの変化、更には時代とともに変容する市民のライフスタイルや生活価値の多様化に伴い、公共が担うべきサービスの分野とその内容の見直しが求められています。

人口減少に伴う税収の減少とは裏腹に、社会保障費の増大が見込まれる中、今後の市の財政はより効率的な運営が必要とされ、公共施設の整備や管理運営に多くの予算を振り向けることが困難な状況にあります。

このような背景のもとに、本市では、公共施設が抱える諸課題に対応し、財政の効率的な運営を行っていくための方針として「多賀城市公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定しました。

そうした中、総務省の「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」が改訂され、併せて、令和3年1月に同省から「公共施設等総合管理計画の見直しに当たっての留意事項」が示され、公共施設の総量を把握した上で施設の長寿命化や集約・複合化等の対策が求められたことを受け、本市においても現計画を令和5年度末までに改訂することとしています。

改訂にあたっては、本市の公共施設の中でも特に老朽化が著しい施設に関する対策として、下記の検討案1及び検討案2のとおり、第六次多賀城市総合計画に掲げた「縮充」の理念を踏まえた集約・複合化等を基本方針として盛り込むことを検討しているところです。

本市の見直し案として、次の2点の検討を進めるにあたり、皆様のご意見をお聞かせいただきますので、下記のアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

検討案1 公民館、市民活動サポートセンター、シルバーヘルスプラザ、児童館の機能を、西部、中央、東部への3つの公民館等の建物内に集約（詳細は1ページ参考資料参照）

検討案2 市民プールと総合体育館を中央地区に移転し合築。小中学校の水泳授業を市民プールで行うことによる小中学校プール（一部か全部か未定）の段階的廃止

多賀城市長 深谷 晃祐

ご回答の期限

令和6年1月12日（金）までに、次のどちらかの方法でご回答をお願いいたします。

① このアンケート用紙にご記入いただき、2ページの『対象施設マップ』にある公共施設へ直接お持ちいただくか、FAX（022-368-2369）でのご提出をお願いいたします。

② 記載のQRコードを読み込むか、下記のURLをご入力していただき、オンラインフォームからご回答をお願いいたします。

(<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1701755048708>)



回答にあたってのお願い

- おひとりにつき1回のみ回答願います。
- ご回答いただいた内容は、検討を進めている施設の見直しの参考とさせていただきます。
- ご回答いただく上で、ご不明点やご質問がありましたら、6ページに記載しているお問い合わせ先にご連絡ください。

検討案 1

公民館、市民活動サポートセンター、シルバーヘルスプラザ、児童館の機能を、西部、中央、東部への3つの公民館等の建物内に集約するイメージ

(本市で現在進めている「公共施設のあり方における縮充」(※)の考え方に基づく機能集約化のイメージ)

※「公共施設のあり方における縮充」とは…

公共施設等の面積及び整備・維持管理に係る費用を縮小しつつも機能を強化充実させる「縮充」という考え方へ移行(パラダイムシフト)し、社会環境の変化に応じた公共サービスの維持向上を目指す、というもの

(第六次多賀城市総合計画基本構想における公共施設等のあり方より)

これまでの考え方

特定の目的別、対象者別に施設を整備 →→→

1施設1目的
「ハード重視」の考え方

生涯学習など
学びを深めたい人の施設

子ども
だけ
児童館
子どもたちの健やかな
成長のための施設

高齢者
だけ
高齢者の憩いの場
としての施設

何か活動を始めたい人の
施設

公共施設全体の面積は減らしつつ



集約化により施設機能を維持、向上!

これからの考え方

それぞれの建物の単なる合築ではなく、施設が持つ機能に着目し、市民ニーズ等を把握した上で施設を整備 →→→

1施設多目的
「ソフト重視」の考え方

各機能を集約した新たな拠点化施設の誕生!

みんなが
利用できる

生きがい活動の推進

多機能化による利便性の向上

世代間交流の創出

多様な住民との交流・啓発

共生社会の推進

公共施設の利用状況について

問5 次の公共施設をどのくらいの頻度で利用しますか。それぞれの施設ごとにご回答ください。

なお、「ほとんど利用しない」、「利用したことがない」場合は、それぞれの施設ごとにその理由を①から⑤の該当番号に○をつけてください。

	施設名	よく利用している	時々利用している	ほとんど利用しない	利用したことがない
ア	市民活動サポートセンター	1	2	3	4
	「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」場合の理由	①施設の存在を知らない ②利用する必要がある ③開館時間等が不満 ④行くのに不便 ⑤その他 ()			
イ	山王地区公民館	1	2	3	4
	「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」場合の理由	①施設の存在を知らない ②利用する必要がある ③開館時間等が不満 ④行くのに不便 ⑤その他 ()			
ウ	大代地区公民館	1	2	3	4
	「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」場合の理由	①施設の存在を知らない ②利用する必要がある ③開館時間等が不満 ④行くのに不便 ⑤その他 ()			
エ	中央公民館	1	2	3	4
	「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」場合の理由	①施設の存在を知らない ②利用する必要がある ③開館時間等が不満 ④行くのに不便 ⑤その他 ()			
オ	総合体育館	1	2	3	4
	「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」場合の理由	①施設の存在を知らない ②利用する必要がある ③開館時間等が不満 ④行くのに不便 ⑤その他 ()			
カ	市民プール	1	2	3	4
	「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」場合の理由	①施設の存在を知らない ②利用する必要がある ③開館時間等が不満 ④行くのに不便 ⑤その他 ()			
キ	鶴ヶ谷児童館	1	2	3	4
	「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」場合の理由	①施設の存在を知らない ②利用する必要がある ③開館時間等が不満 ④行くのに不便 ⑤その他 ()			
ク	西部児童センター	1	2	3	4
	「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」場合の理由	①施設の存在を知らない ②利用する必要がある ③開館時間等が不満 ④行くのに不便 ⑤その他 ()			
ケ	シルバーヘルスプラザ	1	2	3	4
	「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」場合の理由	①施設の存在を知らない ②利用する必要がある ③開館時間等が不満 ④行くのに不便 ⑤その他 ()			

検討案 1 について ※ 1 ページの参考資料も併せてご覧ください。

問 6 本市では、公民館、市民活動サポートセンター、シルバーヘルスプラザ、児童館の機能を、西部、中央、東部への 3 つの公民館等の建物内に集約することを検討していますが、このことによる効果についてどう思いますか。

	効果	そう 思う	どちら かとい えばそ う思う	どちら かとい えば思 わない	思わ ない
ア	市の財政負担が軽減される	1	2	3	4
イ	共生社会 ^{※1} の推進につながる	1	2	3	4
ウ	生きがい活動の推進につながる	1	2	3	4
エ	新たな利用者の増につながる	1	2	3	4
オ	世代間交流が生まれる	1	2	3	4
カ	多様な住民との交流が生まれる	1	2	3	4
キ	多機能化 ^{※2} により利便性が向上する	1	2	3	4
ク	見守りによる児童への防犯効果につながる	1	2	3	4
ケ	アクセスの利便性が高まる	1	2	3	4

※ 1 共生社会とは

様々な人々が、ともに支え合い、すべて分け隔てなく暮らし、それぞれの能力が発揮されている活力ある社会のことです。

※ 2 多機能化とは

一つの施設に複数の機能を持たせることです。

問 7 問 6 で掲げた効果以外に、考えられる効果があれば、こちらにご記入ください。

問 8 検討案 1 について、考えられる問題や課題があれば、こちらにご記入ください。

検討案2について

問9 本市では、市民プールと総合体育館を中央地区に移転し合築。小中学校の水泳授業を市民プールで行うことによる小中学校プール（一部か全部か未定）の段階的廃止を検討していますが、このことによる効果についてどう思いますか。

	効果	そう 思う	どちら かとい えばそ う思う	どちら かとい えば思 わない	思わ ない
ア	市の財政負担が軽減される	1	2	3	4
イ	多機能化により利便性が向上する	1	2	3	4
ウ	健康づくりの促進につながる	1	2	3	4
エ	新たな利用者の増につながる	1	2	3	4
オ	屋内での天候に左右されない水泳授業が実施できる	1	2	3	4
カ	学校の施設管理に係る負担が軽減される	1	2	3	4
キ	アクセスの利便性が高まる	1	2	3	4

問10 問9で掲げた効果以外に考えられる効果があれば、こちらにご記入ください。

問11 検討案2について、考えられる問題や課題があれば、こちらにご記入ください。

問12 本市では、施設の老朽化に伴う更新にあたっては、検討案のように、1つの土地・建物に複数の施設の機能を集約させる取り組みなどをできるだけ進めていくことにしています。そこで、公共施設の集約化等にあたり、重視すべきポイントは何か、それぞれの項目について、あなたの考え方に一番近いものを1つ選んでください。

	重視すべきポイント	とても重要だと思う	どちらかといえば重要だと思う	それほど重要ではないと思う	重要ではないと思う
ア	複数の機能の集約による利便性の向上や相乗効果が発揮されること	1	2	3	4
イ	これまでよりも施設の維持管理費用が節約できること	1	2	3	4
ウ	建替えや改修により、施設がきれいになったり、最新の設備にリニューアルされること	1	2	3	4
エ	広い用地への移転などにより、多くの駐車場が確保されること	1	2	3	4
オ	JRの駅やバス停に近くなるなど、公共交通機関が利用しやすくなること	1	2	3	4

問13 問12の各項目以外に、重視すべきだと思うポイントがあれば、こちらにご記入ください。

問14 施設の集約化以外に、公共施設が抱える課題の解決策として、考えられるものがあれば、こちらにご記入ください。

自由意見

あなたが公共施設に求める機能や、この施設とこの施設が一緒になると良いなど、公共施設のあり方全般について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

アンケートへのご協力、ありがとうございました。皆様からいただいたアンケートの結果は、集計がまとまり次第、市ホームページなどで公開します(令和6年3月公開予定)。

お問い合わせ先
 多賀城市企画経営部企画課行政管理係
 電話：022-368-1141 (代表)
 022-368-2291 (係直通)
 FAX：022-368-2369